

キャンパスセクシュアルハラスメント全国ネットワーク2021年度全国集会

大学におけるSOGI及びLGBTQ に関する取り組みの実際

筑波大学のガイドラインや相談事例をもとに

筑波大学 人間系／
ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター
河野禎之

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

よくある反応

「当事者はいるのか？」

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

もっと重要なこと
「0」ではないということ

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

なぜ支援に取り組む？

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

日常生活においてさまざまなリスクや
困難を抱える可能性が高い

支援体制/環境を 整えるべき理由の1つ

メンタルヘルス/リスクマネジメント/権利擁護的側面

“サポート”の視点

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

“エンパワメント”の視点

イノベーション創出の源泉

||

人材/環境の多様性

ダイバーシティ・マネジメント的側面

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

どんな支援が必要か？

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

支援体制



筑波大学ダイバーシティ基本理念

「1. 性別、国籍、年齢及び障がいの有無にかかわらず、すべての人の人権の尊重、個人の尊厳の確立」

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターにおける学生支援の共通理念

→ 困難さ（苦手さ）やつまずきのみに対してアプローチするのではなく、強みを伸ばす教育的支援



© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

LGBT等に関する 筑波大学の 基本理念と 対応ガイドライン

平成29年3月策定/公表
平成30年3月改訂/公表
平成31年3月英語版策定
令和 2年3月改訂/公表

筑波大学DACセンターHP
もしくは「筑波大学」「LGBT」で検索

http://diversity.tsukuba.ac.jp/?page_id=9492



LGBT+

等*に関する
筑波大学の基本理念と
対応ガイドライン

*LGBT等とは、Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender及び他のセクシュアリティを含む総称とします。
これらのカテゴリーに直接当てはまらない当事者もいますが、本基本理念とガイドラインにおいては包括しています。

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

ガイドライン策定のねらい



大学としての姿勢を示す

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

ガイドライン策定時の留意点

1. 当事者の声を反映させる
2. 具体的な実践項目に基づく
3. 積極的な意味を持たせる

筑波大学におけるLGBT等の 性自認及び性的指向を理由 とした差別の禁止及び解消 に関する基本理念

建学の理念に「開かれた大学」を掲げ、教育・研究に多様性と柔軟性を追究する筑波大学にあっては、**本来違いを持つ学生及び教職員がすべて尊重される**ことは言うまでもありません。

少数者にあたるLGBT等（Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender及び他のセクシュアリティを含む）への対応について、我が国における大学改革を先導する本学は、以下の方針により責任を持って対応します。

少数者を 差別しません

性自認や性的指向は本学が重視する本人の能力とは無関係であり、少数者ということでは差別や嫌がらせがあってはなりません。これらは本学のダイバーシティ基本理念に反するものです。

性自認や性的指向に関わる情報やその開示・非開示、またそれらの表現は、当事者の意思でコントロールされるものであり、他者から不当に侵害されることがあってはなりません。

自己決定を 尊重します

修学・サービスの 妨げを取り除きます

LGBT等の少数者にとって修学・サービスの妨げとなる事柄は、適切な過程による合意形成を経て、合理的な範囲で取り除かれなければなりません。

地球規模課題の解決の先頭に立つ本学において、個性と多様な能力が発揮されることは、未来地球社会に求められる**イノベーションの創出という目標の出発点**にあります。

そのため、本学は**学生、教職員を問わず全構成員を対象**とした上記の基本理念を掲げ、さらに以下の具体的な対応を行います。

対応ガイドライン

ガイドラインの現状について

- **LGBT等の当事者の状況やニーズは多様**
 - 基本理念に沿って、さらに現状の対応を踏まえたうえで個別的な対応が必要
- **主に学生、特にトランスジェンダーの学生に対する内容が中心**
 - 他のセクシュアリティや教職員対応も含めてPDCAサイクルを継続

ガイドラインの項目

- 1) 相談について
 - 2) 氏名・性別の情報とその管理について
 - 3) 授業について
 - 4) 学生生活について
 - 5) 就職活動・キャリア支援について
 - 6) 周囲の対応、特にカミングアウトについて
 - 7) 教職員への対応について
- 付録- ツールボックス

1) 相談について

① 相談窓口

- ・ DACセンターにて開設
「LGBT等に関する相談窓口」
- ・ 対象：学生・教職員・家族

カミングアウトを
受けた側も可能



© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

2) 氏名・性別の情報と その管理について

① 氏名の変更

- ・ 本人の申し出により通称名を教育組織内等で使用することが可能
- ・ 一定の条件のもと、申立書の提出により学籍簿の氏名を、自認する性に基づく氏名とすることが可能

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

2) 氏名・性別の情報とその管理について

② 性別の変更

- 戸籍の性別の変更に伴う場合を除いて、学籍簿等での性別の変更は対応できない（令和2年3月時点）
- ただし、性別情報が限られた範囲で、慎重に取り扱われることを推進

2) 氏名・性別の情報とその管理について

③ 性別情報の取扱い ※アウティング防止

• 名簿

- 学生に配布・掲示する場合、原則としていかなる文書についても性別欄を除外して配布・掲示

• TWINS（履修/成績等の管理システム）

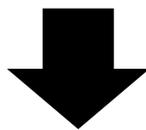
- 性別情報へのアクセス：指導教員・組織長・教務担当／学生担当の職員
- 性別情報の慎重な取扱いを求める

アウトティングの例

- 本人の社会生活上の性別（性自認）と異なる戸籍上の名簿の性別（身体的性）の場合
 - ✓ 本人の意図しない形で流出するリスクは高い
 - 参加者名簿、サークル名簿等
- プライバシー保護の観点からも不要な性別情報が開示されることには十分注意が必要
 - ✓ 筑波大学では学生への全ての配布・掲示物から性別欄を原則削除

アウトティング

- 故意や悪意によるアウトティングは**ハラスメント**であることを認識する



セクシュアリティの情報はプライバシー
(LGBT等に関する情報だから…は理由にならない)

「善意のつもり」や「意図しない」
アウトティングも

チェックは複数可で、該当しない/必要ない事項は記入しません。

誰からのカミングアウト?	<input type="checkbox"/> ①恋人・パートナー <input type="checkbox"/> ②親しい友人 <input type="checkbox"/> ③知人 <input type="checkbox"/> ④クラスや研究室のメンバー <input type="checkbox"/> ⑤サークルのメンバー <input type="checkbox"/> ⑥家族 <input type="checkbox"/> ⑦同僚 <input type="checkbox"/> ⑧指導・担当する学生 <input type="checkbox"/> ⑨その他()
(1) カミングアウトされたこと	<input type="checkbox"/> ①性的指向(どういう性愛するか) <input type="checkbox"/> ②性自認(自分はどういう性か) <input type="checkbox"/> ③社会的な性の表現(服装など) <input type="checkbox"/> ④恋愛指向(どういう性に心ときめくか) <input type="checkbox"/> ⑤身体的特質 <input type="checkbox"/> ⑥精神的特質 <input type="checkbox"/> ⑦悩みごと() <input type="checkbox"/> ⑧その他()
(1-a) その内容	
(1-b) いつ?	
(1-c) どんな手段?	<input type="checkbox"/> ①対面 <input type="checkbox"/> ②電話 <input type="checkbox"/> ③手紙 <input type="checkbox"/> ④電子メール <input type="checkbox"/> ⑤メッセージサービス(LINE等) <input type="checkbox"/> ⑥SNS(どの?→ どの範囲で?→) <input type="checkbox"/> ⑦偶発 <input type="checkbox"/> ⑧その他()
(2) カミングアウトの際に要望された接し方	<input type="checkbox"/> ①ただ聞いてほしい <input type="checkbox"/> ②自分の状況を理解してほしい <input type="checkbox"/> ③私をよく知ってほしい <input type="checkbox"/> ④感想を教えてください <input type="checkbox"/> ⑤肯定的なアドバイスがほしい <input type="checkbox"/> ⑥否定的であっても何でも言ってほしい <input type="checkbox"/> ⑦わからないことを質問してほしい <input type="checkbox"/> ⑧特に何も言われなかった <input type="checkbox"/> ⑨その他()
(2-a) その時どのように自分が接したか?	
(3) カミングアウト後について要望された対応	<input type="checkbox"/> ①特に何も必要ない <input type="checkbox"/> ②受け止めてくれればよい <input type="checkbox"/> ③今まで通り接してほしい <input type="checkbox"/> ④困っていることをやめてほしい(何を?→) <input type="checkbox"/> ⑤専門家などを紹介してほしい <input type="checkbox"/> ⑥他の人へのカミングアウトに協力してほしい <input type="checkbox"/> ⑦支援してほしい(何を?→) <input type="checkbox"/> ⑧特に何も言われなかった <input type="checkbox"/> ⑨その他()

3) 授業について

① 体育の履修、更衣室、用具

- シラバスの備考欄に男女別要素を記載。トリム運動に関する履修を含む事前相談にて対応可。更衣室や用具等についても同様。

② 学外実習（教育実習等）の履修

- 事前相談可。教育組織や実習先とともに個別での対応を検討。

3) 授業について

③ 授業におけるグループ分け

- 性別によるグループ分けが不必要に行われないよう周知

④ 授業等における呼称

- 外国語授業に関してはCEGLOCの協力のもと、学生の希望に沿った呼称対応や、全体としてMrやMissを使用しない方針。
- 基本的に学生に対しては「さん」を推奨

4) 学生生活について

① 定期健康診断

- 保健管理センターの協力のもと個別対応

② 学生宿舎

- 学生生活課の協力のもと個別対応

③ 多目的トイレ

- アクセシビリティ担当の協力のもと個別に情報提供や相談

4) 学生生活について

④ 入学式・卒業式の服装と身なり

- 多様なアイデンティティに基づく服装や身なりでの参加を可として対応

5) 就職活動・ キャリア支援活について

① 就職活動・インターンシップ

- キャリア担当と連携。キャリアカウンセラーとともに考えることが可能。

② LGBT等当事者にとっての就職活動

- 当事者にとって就職活動は大きな転機（直面化する「壁」）
- ワークシートを準備

就職活動の前にシート

記入日 年 月 日



開かれた未来へ。
筑波大学
University of Tsukuba

チェックは該当する箇所は全て入れ、該当しない箇所には入れません。必要ない事項は記入しなくて結構です。

(1) キャリアの希望	<input type="checkbox"/> ①大きな組織で働きたい(大企業、公務員、教員等) <input type="checkbox"/> ②中小の組織で働きたい(中小企業、一般的なNPO等) <input type="checkbox"/> ③私という個人の単位で働きたい(個人事業主、フリーランス等) <input type="checkbox"/> ④組織の大小といった枠にとらわれずに働きたい <input type="checkbox"/> ⑤起業したい <input type="checkbox"/> ⑥その他()
	上記の優先順位→ 1 番目() 2 番目() 3 番目() それ以降()
(2) 働き方の希望	<input type="checkbox"/> ①一貫してマジョリティの人と変わらない働き方をしたい <input type="checkbox"/> ②できるだけマジョリティの人と変わらない働き方をしたい <input type="checkbox"/> ③当事者として必要な支援を必要に応じて受けながら働きたい <input type="checkbox"/> ④就労という形態にこだわらない <input type="checkbox"/> ⑤その他()
	上記の優先順位→ 1 番目() 2 番目() 3 番目() それ以降()
(3) 就職において、私自身について重視すること	<input type="checkbox"/> ①条件(給与、配置等)を妥協しても、自分のアイデンティティや理想を極力通すこと <input type="checkbox"/> ②アイデンティティの面で多少妥協しても、よい待遇(給与、配置等)を得ること <input type="checkbox"/> ③アイデンティティと条件のどちらも極力妥協せず最適なバランスを取ること <input type="checkbox"/> ④わからない、自分の中で答えが出ていない <input type="checkbox"/> ⑤そもそも気にしていない <input type="checkbox"/> ⑥その他()
	上記の優先順位→ 1 番目() 2 番目() 3 番目() それ以降()
(4) 就職先全般に求めること	<input type="checkbox"/> ①理解がある <input type="checkbox"/> ②支援制度がある(希望する氏名、同性パートナー等) <input type="checkbox"/> ③不利益への救済制度がある <input type="checkbox"/> ④理解・支援について認証を得ている <input type="checkbox"/> ⑤当事者のロールモデルになる人がいる <input type="checkbox"/> ⑥アライ(連帯者)がいる <input type="checkbox"/> ⑦当事者への差別や不適切な言動に対し、毅然とした対応が取られる <input type="checkbox"/> ⑧当事者の能力を最大限に発揮させてくれる <input type="checkbox"/> ⑨LGBT等という概念自体を持たない/感じさせない <input type="checkbox"/> ⑩LGBT等に限らず、マイノリティへの適切な意識や対応がある <input type="checkbox"/> ⑪その他()
	上記の優先順位→ 1 番目() 2 番目() 3 番目() それ以降()
(4) 就職先全般に求めること	<input type="checkbox"/> ①LGBT等に限らず、個人が最大限重視される <input type="checkbox"/> ②LGBT等であるかに関係なく、成果や能力を公平に評価してくれる <input type="checkbox"/> ③LGBT等に限らず、マイノリティを積極的に採用・登用している <input type="checkbox"/> ④同業他社より待遇がよい <input type="checkbox"/> ⑤やりがいや生きがいを与えてくれる <input type="checkbox"/> ⑥家族的な一体感や連帯感の重視 <input type="checkbox"/> ⑦プライベートに介入しない <input type="checkbox"/> ⑧その他()
	上記の優先順位→ 1 番目() 2 番目() 3 番目() それ以降()

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

今後の展望



開かれた未来へ。
筑波大学
University of Tsukuba

- 性的指向 (LGB) に関する支援体制の模索
- 大学としての支援の線引き
- 教職員への支援
- 当事者の主体的な活動の支援

多様な人材が各々の能力を発揮できること



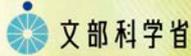
大学に求められるイノベーション創出の源泉



そのために必要な支援・環境の整備を検討

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

性同一性障害や性的指向・性自認に係る、
児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について
(教職員向け)

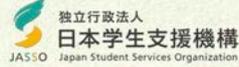


文部科学省

教職員向け 理解・啓発資料

大学等における性的指向・性自認の 多様な在り方の理解増進に向けて

平成30年12月



独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

大阪大学
「性的指向(Sexual Orientation)」と
「性自認(Gender Identity)」の
多様性に関する基本方針



大阪大学は、国際的な多様性に関与するLGBT+コミュニティ、多様な性傾向や性自認を有する世界の若者からなる若者も、平等に権利を享受し、活躍し、学業や研究活動に貢献することを目的として、性的指向や性自認の多様性を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。また、本学が学問や研究活動を通じて推進している多様な人材の活用や、多様な人材の活躍を促進する取組を進めてまいります。この取組の一環として、性的指向や性自認の多様性を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。また、本学が学問や研究活動を通じて推進している多様な人材の活用や、多様な人材の活躍を促進する取組を進めてまいります。この取組の一環として、性的指向や性自認の多様性を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。



AWM
Academic Workforce Management



筑波大学

LGBT+

等*に関する 筑波大学の基本理念と 対応ガイドライン

*LGBT+とは、Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender 及びその他の性的指向や性自認を指します。このガイドラインは、LGBT+の多様な在り方に関する基本理念と、本学が学問や研究活動を通じて推進している多様な人材の活用や、多様な人材の活躍を促進する取組を進めてまいります。

教職員向け

セクシュアルマイノリティ学生への 配慮・対応ガイド

第3版

本学は、性的指向や性自認の多様な在り方を持つ学生を尊重し、学業や研究活動に貢献することを目的として、セクシュアルマイノリティ学生への配慮・対応ガイドを策定しました。本ガイドは、セクシュアルマイノリティ学生が安心して学業や研究活動に取り組むための基本的な対応方針を示しています。また、本学が学問や研究活動を通じて推進している多様な人材の活用や、多様な人材の活躍を促進する取組を進めてまいります。この取組の一環として、性的指向や性自認の多様性を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。

項目	内容
1	性自認に関する配慮・対応
2	服装・容姿に関する配慮・対応
3	多様な性傾向や性自認を持つ学生が安心して学業や研究活動に取り組むための基本的な対応方針

山口大学
「性的指向(Sexual Orientation and Gender Identity)」の多様性
と学生生活に関する基本方針

2017年4月1日策定

- 基本理念
 - 山口大学は、人権を尊重し、多様な性傾向や性自認を有する学生を尊重し、学業や研究活動に貢献することを目的として、性的指向や性自認の多様な在り方を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。また、本学が学問や研究活動を通じて推進している多様な人材の活用や、多様な人材の活躍を促進する取組を進めてまいります。この取組の一環として、性的指向や性自認の多様性を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。
- 基本方針
 - 山口大学は、性的指向や性自認の多様な在り方を持つ学生を尊重し、学業や研究活動に貢献することを目的として、性的指向や性自認の多様な在り方を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。また、本学が学問や研究活動を通じて推進している多様な人材の活用や、多様な人材の活躍を促進する取組を進めてまいります。この取組の一環として、性的指向や性自認の多様性を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。
- 実施方針
 - 山口大学は、性的指向や性自認の多様な在り方を持つ学生を尊重し、学業や研究活動に貢献することを目的として、性的指向や性自認の多様な在り方を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。また、本学が学問や研究活動を通じて推進している多様な人材の活用や、多様な人材の活躍を促進する取組を進めてまいります。この取組の一環として、性的指向や性自認の多様性を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。
- 関係機関
 - 山口大学は、性的指向や性自認の多様な在り方を持つ学生を尊重し、学業や研究活動に貢献することを目的として、性的指向や性自認の多様な在り方を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。また、本学が学問や研究活動を通じて推進している多様な人材の活用や、多様な人材の活躍を促進する取組を進めてまいります。この取組の一環として、性的指向や性自認の多様性を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。

LGBT等*に関する
名古屋大学の基本理念と対応ガイドライン

平成30年5月

国立大学法人 名古屋大学

*LGBT+とは、Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender 及びその他の性的指向や性自認を指します。このガイドラインは、LGBT+の多様な在り方に関する基本理念と、本学が学問や研究活動を通じて推進している多様な人材の活用や、多様な人材の活躍を促進する取組を進めてまいります。

性的あり方の多様性に関する基本指針について

山口大学は、「人権に関する基本理念」を策定し、本学に関与するすべての人（教員や学生）が人権を尊重し、多様な性傾向や性自認を有する学生を尊重し、学業や研究活動に貢献することを目的として、性的指向や性自認の多様な在り方を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。また、本学が学問や研究活動を通じて推進している多様な人材の活用や、多様な人材の活躍を促進する取組を進めてまいります。この取組の一環として、性的指向や性自認の多様性を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。

2017（平成29）年12月28日
山口大学 人権 部

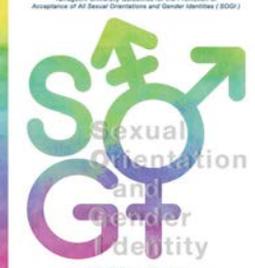
性的あり方の多様性に関する基本指針

性的指向や性自認の多様な在り方を持つ学生を尊重し、学業や研究活動に貢献することを目的として、性的指向や性自認の多様な在り方を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。また、本学が学問や研究活動を通じて推進している多様な人材の活用や、多様な人材の活躍を促進する取組を進めてまいります。この取組の一環として、性的指向や性自認の多様性を尊重し、ダイバーシティ推進の取組を進めてまいります。

- 性自認に関する配慮・対応
- 服装・容姿に関する配慮・対応
- 多様な性傾向や性自認を持つ学生が安心して学業や研究活動に取り組むための基本的な対応方針

山口大学における
多様な性的指向と性自認(SOGI)を尊重する
基本理念と対応ガイドライン

Yamaguchi University Guidelines for the Promotion of
Acceptance of All Sexual Orientations and Gender Identities (SOGI)



山口大学 多様性推進部
Yamaguchi University Diversity Promotion Office

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

取り組みはある程度共通する

可視化

共有

評価

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止



UDA JAPAN

 UDA JAPAN

大学ダイバーシティ・アライアンス
University Diversity Alliance

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

UDAとは

大学等の高等教育機関が、
LGBT等を含むセクシュアル・マイノ
リティ当事者の学生支援を入口として、
すべての学生・教職員がそれぞれの能
力を発揮できる場となることを目指す
大学関係者によるネットワーク

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

UDAの目的

すべての学生（大学生・高校生）が、
自身のキャリア形成のために、大学や
企業のSOGI/LGBT+に関する取り組み
情報にアクセスでき、
かつ取り組みの恩恵を享受できる状況
を実現する

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

具体的な取り組み

1. 大学で実施されているSOGI/LGBT+に関する具体的な取り組み情報をデータベース化する

*支援体制や支援内容等。事例や個人の情報を集めるものではない

2. データベースに基づき、大学等でのSOGI/LGBT+に関する取り組みの情報共有／勉強会等の開催／コンサルティングを行う

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止

日本の高等教育の現場に即した
ボトムアップ型の指標の必要性

© Yoshiyuki Kawano 無断複製・転載等禁止